

都市再生整備計画 事後評価シート
仙台港中野地区

平成28年2月

宮城県仙台市

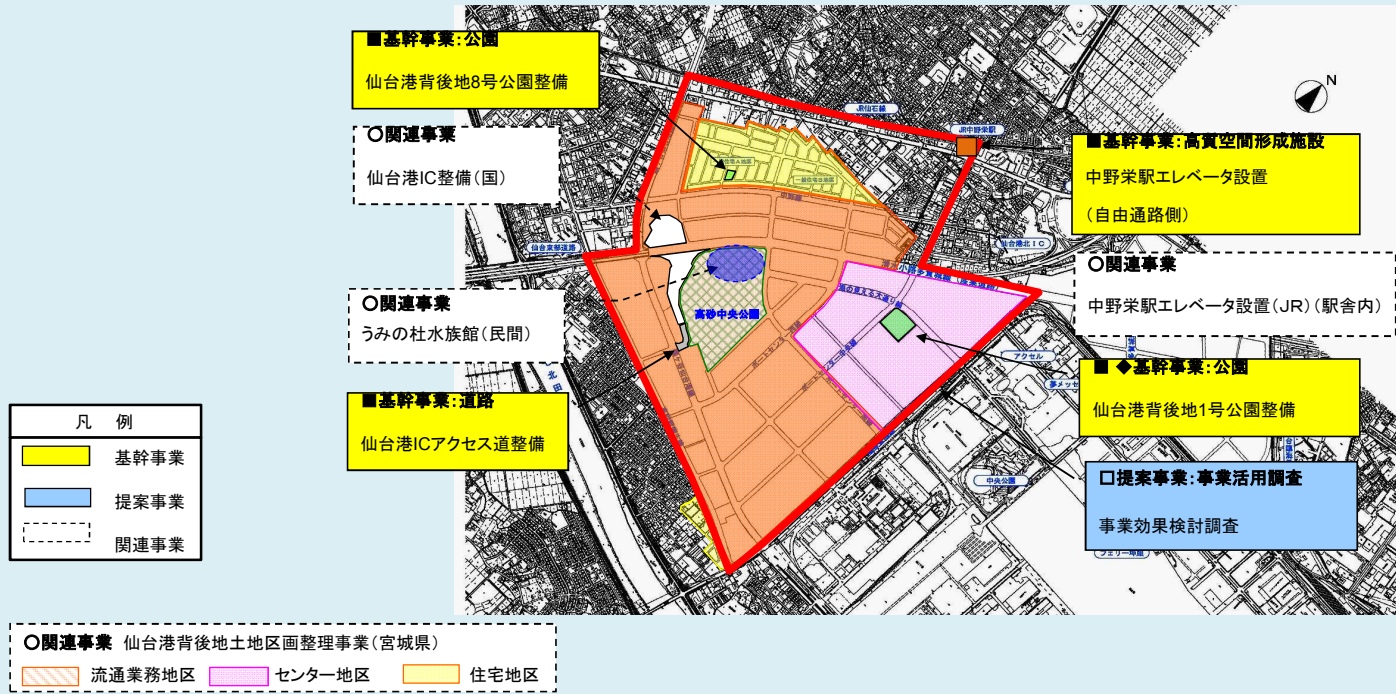
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	宮城県	市町村名	仙台市		地区名	仙台港中野地区			面積	231ha				
交付期間	平成21年度～平成26年度		事後評価実施時期	平成27年度		交付対象事業費	591.4百万円		国費率	0.4				
1)事業の実施状況	事業名													
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(仙台港ICアクセス道)、公園(仙台港背後地1号公園、仙台港背後地8号公園)、高質空間形成施設(中野栄エレベータ設置(自由通路側))											
		提案事業	地域創造支援事業(歩行者等サイン検討調査)、事業活用調査(事業効果検証調査)											
	事業名													
	削除/追加の理由													
	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響													
当初計画から削除した事業	基幹事業	なし												
	提案事業	歩行者等サイン検討調査												
新たに追加した事業	基幹事業	なし												
	提案事業	なし												
交付期間の変更	当初	平成21年度～平成25年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響										
	変更	平成21年度～平成26年度												
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
	指標1	インターチェンジの利用車台数	台/日	-	H20	4,640	H26	6,200	9,300	○	あり	-	土地区画整理事業の進捗による商業・業務・流通系の機能集積、仙台北部道路の開通(平成22年3月)による仙台東部道路の交通量増加によって、目標値を達成した。	-
	指標2	通りの歩行者数	人/12h	3,180	H20	3,600	H26	5,547	6,103	○	あり	-	土地区画整理事業の進捗による商業施設等の集積により、回遊性が向上し、通りの歩行者数の目標を達成した。	-
指標3	公園の利用者数	人/日	-	H20	1,780	H26	-	977	△	あり	-	平日の利用者が少なく目標を下回ったものの、集客力のある商業施設の立地が進んだことにより、近隣公園の休日は利用者が多かった。	-	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
	その他の数値指標1													
	その他の数値指標2													
その他の数値指標3														
4)定性的な効果発現状況	基盤整備の進捗により、商業施設や水族館等の集客施設が立地したことで賑わいが創出され、回遊性も高まっている。													
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等			
	モニタリング	指標の達成状況の確認				都市再生整備計画に記載し、実施できた					●	中間時において達成状況を確認することは、事業を適切に評価する上で効果的な確認方法であり、今後の計画でも実施することが望ましい。		
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
住民参加プロセス	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた					なし				
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した									
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
持続的なまちづくり体制の構築	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた					なし				
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した									
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									

様式2-2 地区の概要

仙台港中野地区(宮城県仙台市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
【大目標】 国際貿易港と連携する経済・交流拠点の形成を目指し、新たな機能集積に向けた都市基盤と広域交通基盤を形成する。	インターチェンジの利用車台数	単位: 台/日	-	H20	4,640	H26	9,300	H26
<目標1> 高速道路と地区の結節機能を強化し、交通・物流の円滑化を図る。	通りの歩行者数	単位: 人/12h	3,180	H20	3,600	H26	6,103	H26
<目標2> 地区内の土地利用状況に沿った公園を整備し、利用者が快適で安全に楽しめる憩い・交流空間整備を図る。	公園の利用者数	単位: 人/日	-	H20	1,780	H26	977	H26
<目標3> 魅力ある経済・交流拠点を形成するため、新たな機能集積を推進するとともに回遊性の向上を図る。								



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年4月に仙台港背後地1号公園(中野中央公園)を供用開始しており、地区の賑わいと魅力が向上したが、更なる公園利用を促進する必要がある。 仙台港ICアクセス道の整備が完了し、平成24年12月に供用開始となったことで、アクセス性が向上し利用車台数増加につながっているが、交通量増加に伴う、周辺地区の交通渋滞に注視していく必要がある。 中野栄駅のエレベータ設置により、移動の円滑化が図られ、歩行者の利便性、快適性が向上した。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 周辺に立地している事業者と連携したイベント開催等により、公園利用を促進する。 交通渋滞に注視するとともに、公共交通機関の利用を促進する。